

教育 つるおか



2 0 2 5

令和7年9月1日

編集・発行／鶴岡市教育委員会事務局管理課
〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字文栄100
電話 0235-57-4861
FAX 0235-57-4886
メールアドレス kkyouiku@city.tsuruoka.lg.jp
<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/>

Tsuruoka Public Education Announcements Vol.23

鶴岡アートフォーラム開館20周年記念



特別展覧会「棟方志功展」



P2

- ・新教育長のあいさつ
- ・新教育委員のあいさつ

P3

- ・熊本市と相互交流連携協定を締結
- ・中学生が姉妹都市ニューブランズウィック市を訪問
- ・不登校対策の充実に向けて

P4

- ・「つるおか健康ポイント」参加者募集中！
- ・プラネタリウムで「星活」しませんか？
- ・学校給食で味わう郷土料理～孟宗汁～

鶴岡市市制施行20周年と開館20周年を記念し、没後50年となる棟方志功の名品約60点を紹介する特別展覧会が4月19日から5月25日まで開催されました。初日には開幕記念式典が行われたほか、会期中には学芸員によるギャラリートークも企画され、集まった大勢の来館者は、解説に耳を傾け、「世界のムナカタ」の魅力を楽しんでいました。

◆令和7年4月1日に、新たな教育長に任命された
成澤教育長から、就任にあたってのあいさつを申し上げます。

〆鶴岡らしい教育〆の継承と発展を目指して



教育長 成澤 和則

本市では、藩校致道館の教育理念であります「天性重視」・「自学自習」・「会業の重視」・「自発的学習意欲の重視」等を大切にしたいと考えています。また、昭和・平成の時代から小中連携教育にも力を入れて取り組むとともに、地域と連携した特色ある教育活動の充実にも努めてまいりました。私は、これらのことが「鶴岡らしい学校教育」だと考えております。

これからの学校教育では、自ら課題を発見し、自ら判断して他と協働しながらよりよく解決していく力の育成が求められています。このような力は教師主導の一斉学習ではなく、子どもたちが主体となって学び進める学習で育成されると考えます。今こそ、子どもたちが個性を発揮しながら主体となって学び進める学習を実践し、子どもたちの課題解決力の育成と個性の伸長を図ってまいりたいと思います。また、今年度から始めました鶴岡型小中一貫教育とコミュニティ・スクールの全校実施を両輪として、9年間の義務教育の充実にも努めてまいります。これらのことが「鶴岡らしい学校教育」の継承と発展につながると確信しております。

そして、学校教育だけでなく、社会教育や芸術文化、スポーツの振興においても「鶴岡らしき」を追究し、その継承と発展に努めてまいります。

「創造と伝統のまち 鶴岡」には、豊かな教育的資源があります。それらを十分に活用しながら「鶴岡らしい教育の継承と発展」を実現していくことが、ふるさと鶴岡を愛する心情の醸成につながります。次代を担う子どもたちをはじめ、市民の皆様が様々な教育活動を通じて鶴岡に愛着を持つとともに、自己実現できますよう誠心誠意努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆令和7年6月10日に、新たな教育委員に任命された
佐藤委員から、就任にあたってのあいさつを申し上げます。

〆好き〆を育むために



委員 佐藤 涼子

平成28年に鶴岡市へ移住し早9年になります。鶴岡の自然、食、人、文化に魅了され、毎年新たな発見があり、生活していて退屈な日はありません。そんな日々のなか、今年6月に教育委員を拝命いたしました。

教育現場に直接携わった経験はありませんが、前職の経験を活かし、庄内地域の学校や生涯学習の場、教育現場の皆さんの研修の場などで、宇宙や国際宇宙ステーションについてお話をする機会をいただいております。話をするなかで、聞いてくださる皆さん（老若男女問わず）の目が、徐々に輝いていくことが深く印象に残っています。未知なる宇宙への好奇心や探究心に触れたような、嬉しくなる瞬間です。このような経験から、誰もが「好き」を安心して学べる場を作り続けることも大事なのでは、と思うようになり、令和2年から「庄内から宇宙へ！」と題した宇宙がテーマのイベントを企画運営しています。

まだまだ勉強不足ではありますが、皆様方にご指導いただきながら、子どもたちや地域の皆様のために、教育委員としての役割を精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

鶴岡市と熊本市が相互交流連携協定を締結
学校同士の交流をスタート

鶴岡市と熊本県熊本市は、歴史や文化、教育などの分野で知見を共有し、相互の発展と地域課題の解決を目指すため、令和7年4月25日に相互交流に係る連携協定を締結しました。

両市は、加藤清正公や忠廣公のご縁を背景に、民間交流を長年育んできました。昨年6月には、熊本市の大西一史市長を講師に招き、熊本地震の経験を基にした防災講演会を開催し、今年2月には鶴岡市の前教育長・布川敦氏が熊本市を訪れ、小学校や熊本博物館へ交流拡大をお願いしました。こうした友好関係を基盤に、今年4月、皆川市長と成澤教育長が熊本市を訪問し、交流の取り組みについて協議し、協定を締結することができました。

まずは教育文化の分野から相互理解を深めるため、熊本市立壺川小学校と鶴岡市立櫛引西小学校、熊本市立京陵中学校と鶴岡市立櫛引中学校の学校間交流、熊本博物館と鶴岡市郷土資料館の連携を進めることとし、小中学校間ではオンライン交流により、児童・生徒が互いの地域の文化や歴史を学ぶ機会を設けようとする準備を進めております。

両市の連携が、今後多様な分野へと発展し、子どもたちの学びや地域の活性化に新たな可能性をもたらすことを願っています。



両市の市長と教育長

姉妹都市交流
アメリカ・ニューブランズウィック市訪問

3月22日から28日にかけて、本市の姉妹都市であるアメリカ・ニューブランズウィック市（以下NB市）を中学生6名が訪問しました。

現地ではホームステイを体験し、ミドルスクール訪問や友好協会の方々との交流を通して、両市の絆を実感する滞在となりました。訪問団は、ミドルスクールの生徒と一緒にアメリカの学校生活を体験したり、鶴岡や日本のことを紹介したり、積極的な交流を行いました。英語でのコミュニケーションに不安もありましたが、言葉や文化の違いを超えたつながりを感じ、両市の懸け橋となるために何ができるのか、改めて考える機会にもなりました。姉妹都市の盟約を結ぶきっかけとなった庄内藩士・高木三郎氏が学んだラトガース大学での講義や、高木氏のご息女が眠っているウィローグローブ墓地の慰霊訪問では、過去から現在へと繋がる、NB市の方々の鶴岡への思いを感じたようです。

訪問団の皆さんには、今回の経験を多くの人たちに伝え、様々な場面で活躍してくれることを期待しています。



不登校対策の充実に向けて

全国的に不登校の状態にある児童生徒は年々増加しており、本市においても同様の状況にあります。教育委員会では、現在求められている児童生徒の将来の社会的自立を目指した支援の充実と不登校の未然防止に一層力を入れて、様々な取り組みを行っているところです。

今年度、教育委員会として取り組んでいることの中から、3つのことについて紹介します。

〈教育支援センター「おあしす」の充実〉

今年度から教育支援センターと名称を変更し、専任のスタッフを配置しました。児童生徒の状態に合わせた支援、自己決定を大切にしたい支援を行うことができるよう、環境整備と支援内容の充実に取り組んでいます。

〈教員向け研修会の実施〉

7月10日(木)に鶴岡市内の各小中学校教員が本研修会に参加しました。文部科学省学びの多様化学校マイスター・豊島区教育委員会不登校対策スーパーバイザーの黒沢正明氏を講師にお招きし、「これからの学校に求められる登校支援の在り方について」という演題でご講演いただきました。

〈教員の授業づくりへの支援の充実〉

不登校を未然に防止するには、児童生徒にとって学校を楽しく、通いたくなる場にしていくことが大切です。特に、学校生活の多くを占める授業の充実が最も大切になります。教育委員会では、放課後の短時間の研修会や授業づくり相談会の開催など、授業づくりに関する研修会の充実を図っています。

「つるおか健康ポイント」事業
参加者募集中!

市民の皆さんの健康・体力づくりや運動への関心、意欲向上を目的に、4月から「つるおか健康ポイント」事業がスタートしました。健康診断の受診やウォーキングイベントへの参加、健康づくりに関する取り組みなど、健康増進につながる行動や事業への参加でポイントが貯まり、40ポイントを達成することに抽選に応募できます。当選者には鶴岡の特産品などの記念品をプレゼントします。ポイントを貯めながら楽しく健康&体力づくりをしてみませんか?スマートフォンアプリLINEを使って気軽に始められますので、ぜひご参加ください。



《実施期間》

●ポイント付与期間…

令和7年4月1日(火)～令和7年12月31日(水)

●抽選応募締切…令和8年1月15日(木)

●抽選・当選発表…令和8年2月～3月

《参加方法》 鶴岡市公式LINEアカウント、または紙ポイントカードで参加。

《参加対象・条件》 鶴岡市に在住または在勤している18歳以上の方(ただし高校生は除く。)

《達成条件》 40、80、120ポイントを達成することに抽選への応募が可能。

《その他》 詳細は市ホームページをご確認ください。

【問合せ先】

鶴岡市教育委員会 スポーツ課 ☎25-8131
鶴岡市健康福祉部 健康課 ☎35-0149



【中央公民館】プラネタリウムで
「星活」を始めてみませんか?
☆三

中央公民館のプラネタリウムでは、星座や宇宙初心者の方、プラネタリウムが初めての方でも楽しめるような企画をご用意しています。子ども向け2番組、大人向け2番組を揃えているほか、プラネタリウム放映機を使った鶴岡市から見える星空の解説も大変好評をいただいています。

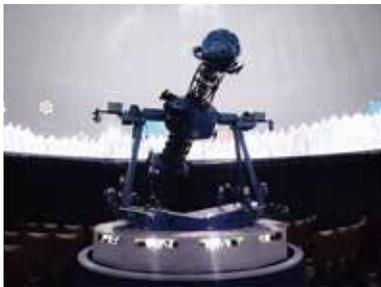
11月には「熟睡プラ寝たりウム」を開催します。音楽を聴きながら星空を眺められる癒しの空間を演出します。

10名様以上であれば団体観覧も受け付けています。各種団体のレクリエーションなどで満天の星空を貸し切りで楽しみませんか?

各番組の日程など、詳細は随時HPに掲載しています。庄内地域唯一のプラネタリウムにぜひお越しください。



プラネタリウム
イメージキャラクター
「ぴっか」



プラネタリウム室



HPは
こちらから!

学校給食で味わう郷土料理
孟宗汁

市内に5つある各給食センターでは、地産地消の取り組みの一環として、地元産食材を積極的に給食に取り入れています。

5月には鶴岡の郷土料理、孟宗汁を給食で提供しました。市学校給食センターでは新鮮な鶴岡産孟宗250kg、鶴岡産大豆で作った生揚げ360kgをはじめ、鶴岡産のしいたけ、庄内産の豚肉を使用しました。孟宗、生揚げはすべて手切りで一つひとつ丁寧に調理し、味付けには鶴岡産の大豆を使用した味噌と地元酒蔵の酒粕を使用して、濃厚な香りと、うま味を贅沢に味わえる孟宗汁となりました。子どもたちも大量調理で作る孟宗汁を各家庭の味と比べながらおいしく味わっていました。

今年度学校給食センターでは、ユーザーなどの市公式SNSを利用して「つるおか給食こんだてめぐり」として給食献立を紹介しています。今後も学校給食センターでの調理の様子や日々の献立を定期的に発信していきますので、ぜひご覧ください。懐かしのあのメニューなど、子どもたちが学校で実際に食べているメニューをご覧いただけます。



学校給食で提供された孟宗汁



孟宗汁の紹介は
こちらから!